介護支援専門員
アンケート調査集計結果

【調査趣旨】

包括的・継続的ケアマネジメント実践を可能にする環境整備と実践力の向上が図れるよう、現状の課題やニーズを把握し、今後の包括的・継続的ケアマネジメント支援内容について検討するうえでの参考にさせて頂きたく調査を行いました。

※包括的・継続的ケアマネジメント支援とは…
高齢者の生活を長く安心して支えるために、医療・介護・福祉等さまざまな関係機関や人が連携しながら、継続的に支援できるように、地域包括支援センターが中心となり、環境整備や個別ケアマネジメント支援を行う。

【調査方法】

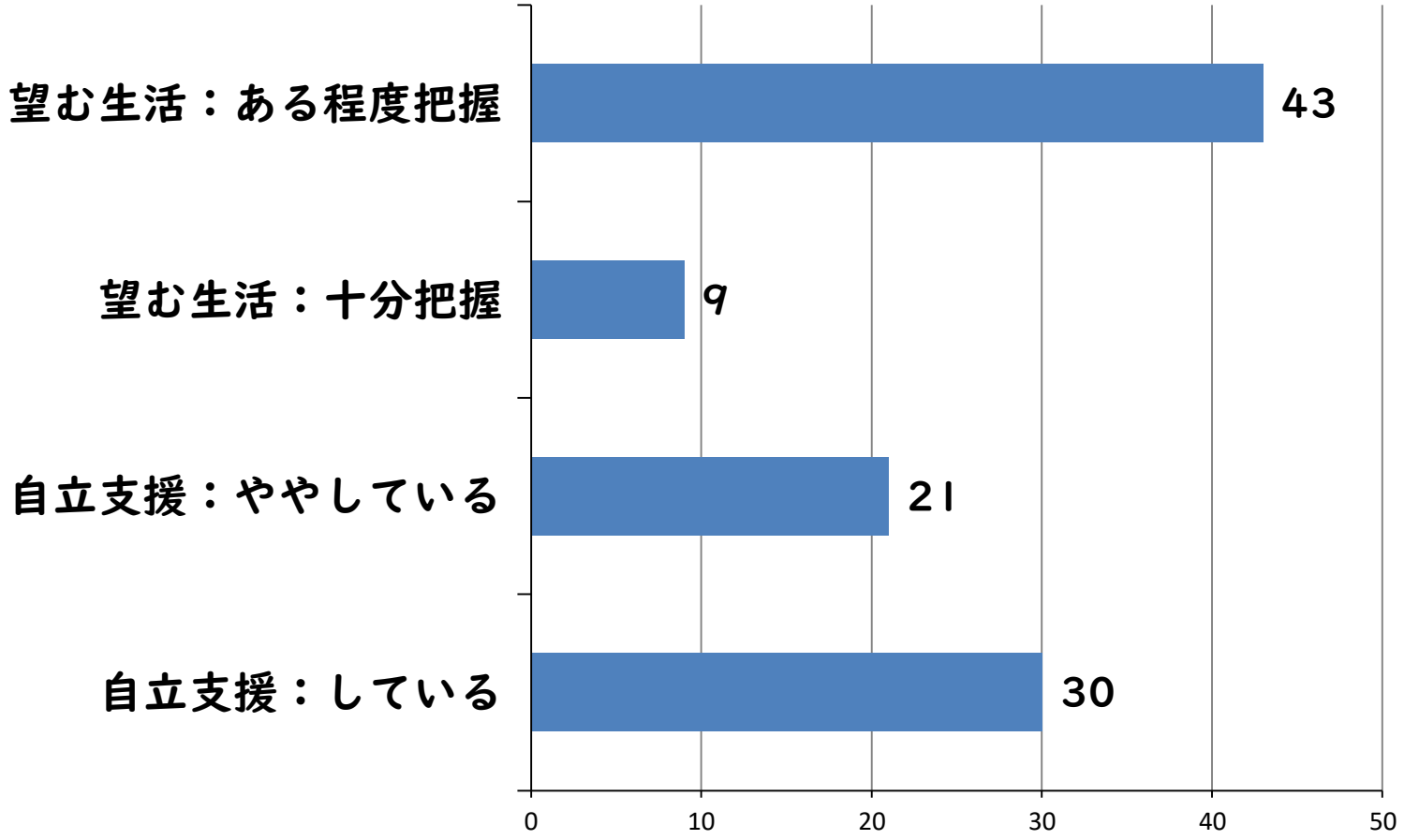
期間：２０２６年８月２８日～2026年９月２５日
対象：２８事業所　８２名の介護支援専門員
方法：Web回答

【回答件数】　５３件　（回答率：６５％）

ご協力ありがとうございました

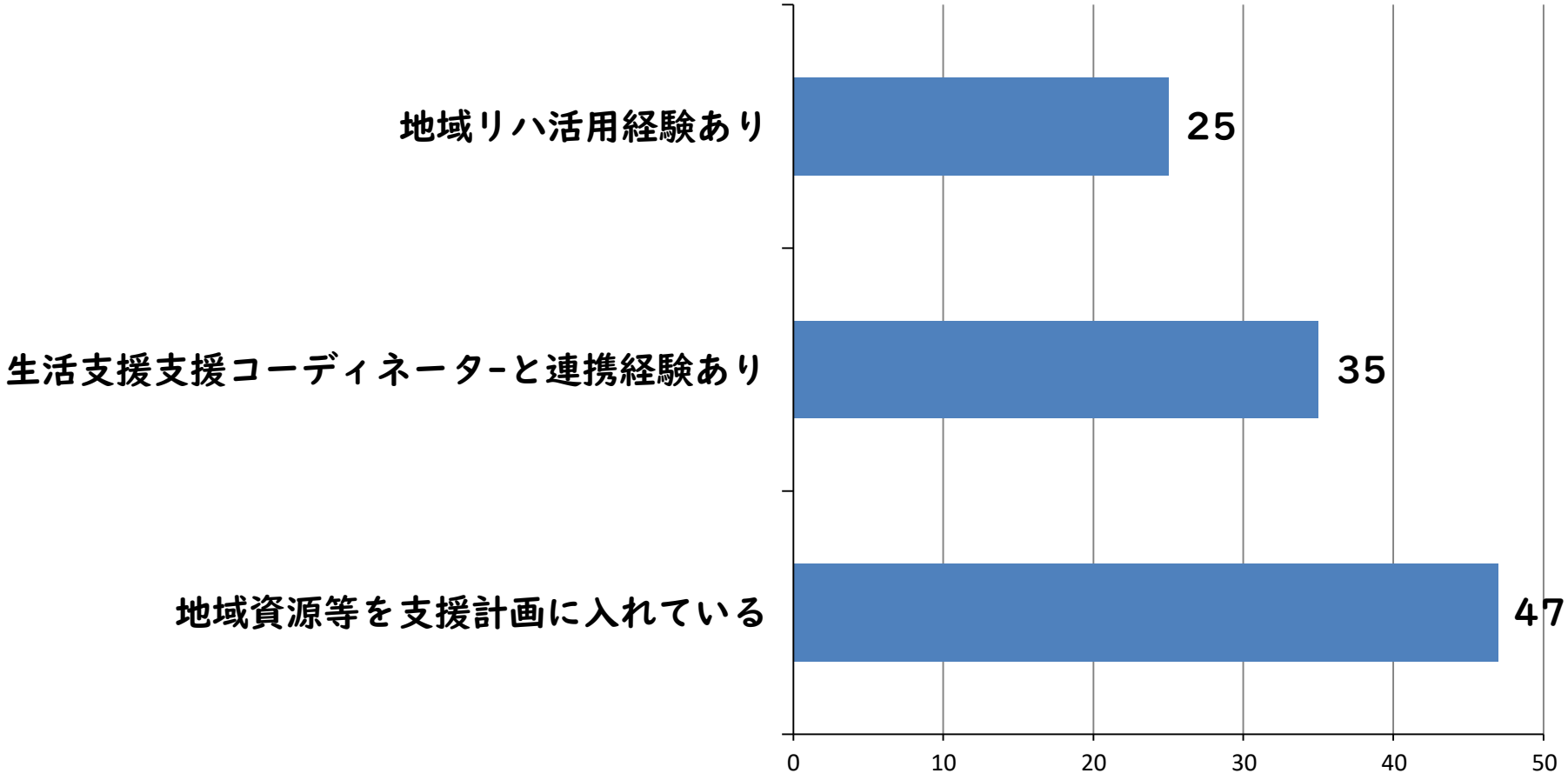
53名の介護支援専門員の皆さまから回答をいただきました。
日頃のケアマネジメント、地域資源、関係機関との連携、シャドーワーク等について、
現場の実態を把握することができました。
ここでは、回答結果から見える傾向を共有します。

日頃のケアマネジメント



本人の望む生活を意識しながら、自立支援・重度化防止を意識した支援が行われている。

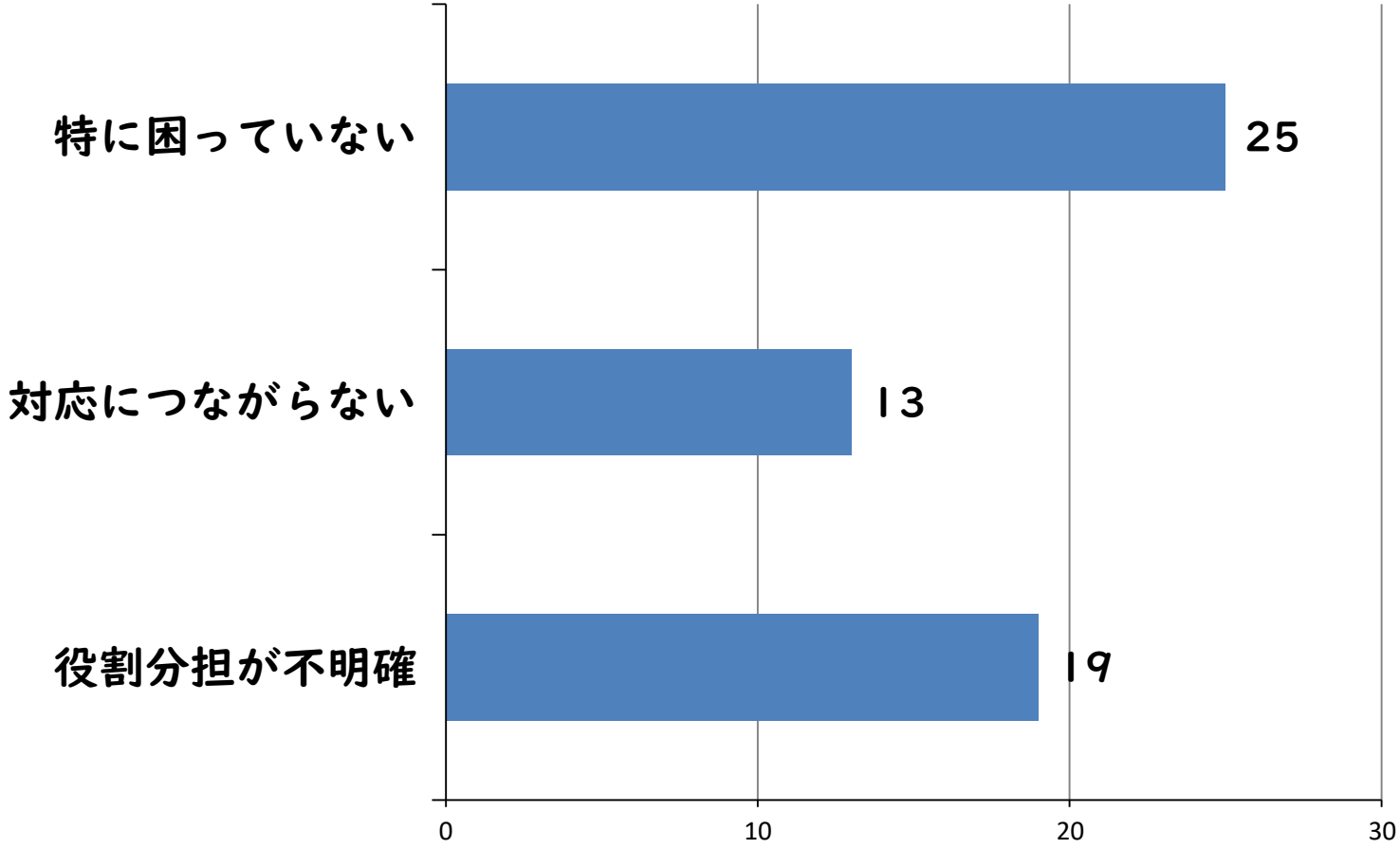
地域資源の活用



地域資源の活用は行われている。

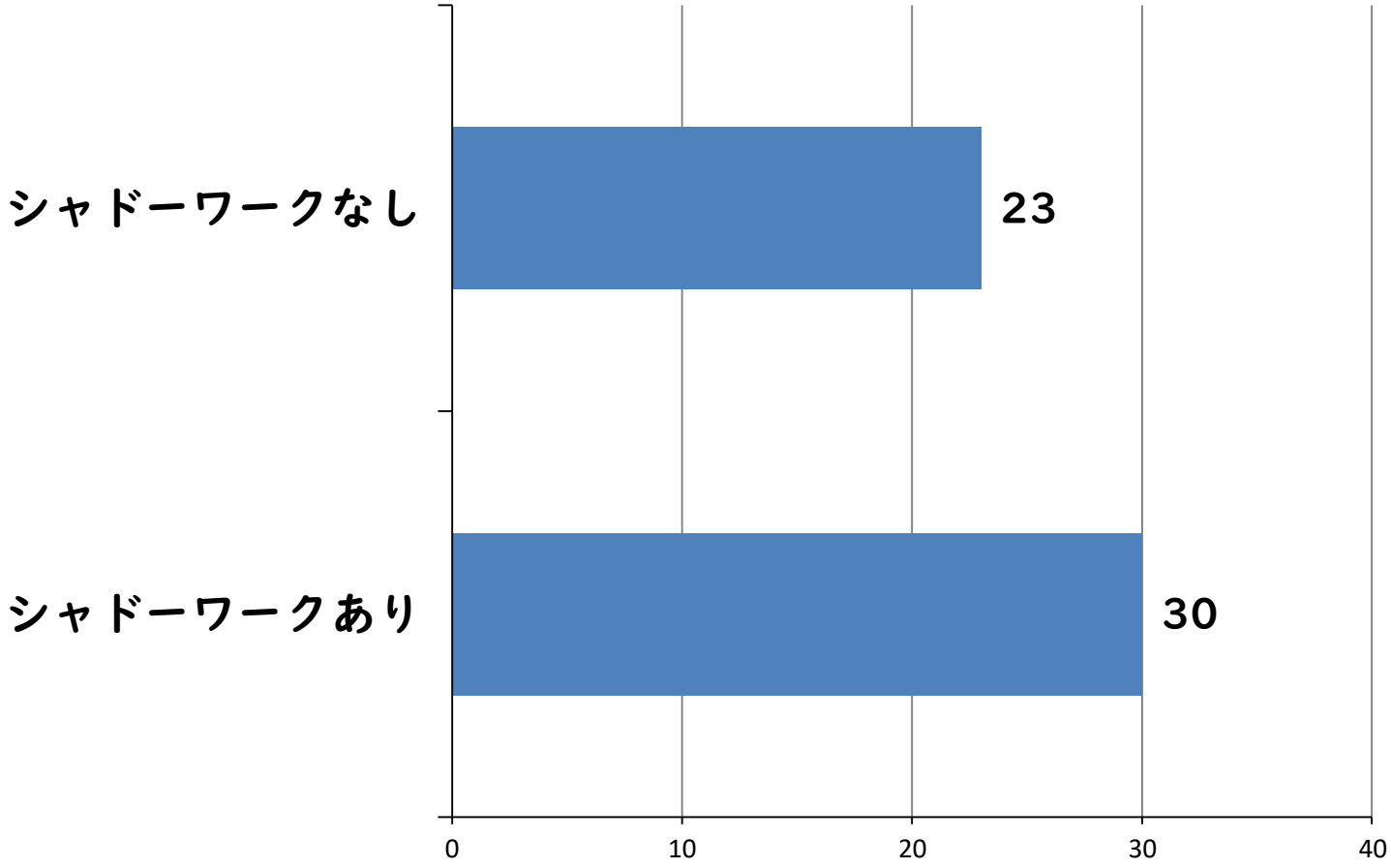
連携先や事業によって活用経験には差がある。

関係機関との連携



連携そのものだけでなく、
「連携した後にどう動くか」
が課題として挙がっている。

シャドーワークの実態



自由記述では、

・受診付き添い

・行政手続き

・買物

・家族対応

・緊急時対応など

が挙げられた。

回答結果から共有したいこと

ケアマネジメントの基本的な実践は定着している。

一方で、その実践を地域との連携や本人の望む生活の実現につなげる上でまだ課題がある。

・本人の望む生活を支えるため、地域資源や関係機関とのつながりを拡充する必要がある。

・連携後の役割分担や、介護保険以外の生活課題への対応など、個人だけでは解決しにくい課題も見えている。